

— 令和4年度 第13回議会報告会 各地区テーマに対する回答について —

【 北西 】地区

1. 令和4年度「議会報告会」地区テーマ

(1)テーマ: 自治会改革について

平成29年度に地区長連合会が行った「自治会アンケート調査」では、多くの地区長から人口減少や高齢化により役員選任の苦慮や自治会運営における様々な負担の増加など、多くの課題が挙げられました。

地区長連合会役員会において、その課題を共有するとともに地区役員の負担軽減などについて意見交換を行い協議を進めることが、過去の議会で答弁がされています。

また、昨年度の議会において、令和3年11月に自治会改革検討委員会を設置し、持続可能な自治会の在り方について議論を始めていることの答弁もありました。

なお、市においては、自治会への依頼事項などについての見直しに向け、検討を行っていると同っています。

(2)テーマ: 河川の浚渫について

【令和3年度実績】

○白沢川 浚渫 1,400m 事業費約4,600万円
工期:令和3年8月～令和4年2月完了

○八幡沢川 浚渫 360m 事業費約100万円
工期:令和3年8月～令和4年2月完了

○甘利沢川 樹木伐採 200m 事業費約400万円
工期:令和3年8月～令和4年2月完了

【令和4年度実施予定】

○甘利沢川 樹木伐採 約600m 浚渫 約1,800m 事業費約2,000万円
工期:令和4年3月～令和4年12月予定

※令和4年度の予定(上記以外)および令和5年度以降の予定については順次計画中和伺っております。

《砂防について》

【令和3年度実績】

○豎沢川 溪流保全工1期目工事 床固工1基及び帯工2基 事業費約5,500万円
工期:令和3年10月～令和4年6月完了

○豎沢川 砂防堰堤改修4期目工事 本堤工 事業費約9,100万円
工期:令和4年3月～令和5年2月完了予定

【令和4年度実施予定】

○豎沢川 溪流保全工2期目工事 事業費約5,000万円
工期:令和4年10月～令和5年6月完了予定

○豎沢川 溪流保全工1期目工事(新規工事) 事業費5,000万円
工期:令和4年10月～令和5年6月完了予定

【令和5年度以降の予定】

豎沢川 砂防堰堤改修5期目工事(最終工事)及び溪流保全工事の継続が予定していると伺っております。

《治山について》

【令和3年度実績】

[清哲地区]桐沢治山工事 谷止工1基 事業費:40,150,000円
工期:令和4年2月～9月

[神山地区]白沢北沢治山工事 谷止工1基 事業費:43,852,600円
工期:令和3年3月～令和4年2月

【令和4年度計画】

[神山地区]白沢北沢治山工事 山腹工(0.41)ha 事業費:44,990,000円
工期:令和4年3月～令和5年2月
(山腹崩壊規模が大きいため、復旧まで2～3年かかる見込みです。)

[円野地区]戸沢川上流治山工事 谷止工1基 事業費:41,000,000円
工期:令和4年8月～令和5年5月(予定)

※ 令和5年度以降の予定については、順次計画中と伺っております。

(2)テーマ：河川の浚渫について(令和3年工事)

①白沢川浚渫完成



②八幡沢川浚渫完成



③甘利沢川伐木完成



(3)テーマ：砂防・治山について(令和3年工事)

①豎沢川溪流保全工事



②豎沢川砂防堰堤改修工事



③白沢北沢治山工事



2. その他 ※過年度テーマの進捗状況報告、テーマ以外の地域住民からの要望、意見等の回答

(1) 後継者を含めて転入者への助成について

【要望】

家の子供さえ、円野に住まいを選ばずにより便利な地域に住まいを新築する現状を変えて過疎化を止めたい。

【回答】

(1) 葦崎市における子育て支援に関連する事業について、主なものは下記のとおりとなります。

- ・ 医療費助成(18歳以下のこども医療費の窓口無償化)
- ・ ファミリー・サポート事業(生後3か月から小学校6年生までの子どもを養育している方が子どもの送迎や預かりなどの援助)
- ・ 子育て支援センターの運営
- ・ 奨学金返還支援
- ・ 第2子以降の保育料及び副食費の無償化
- ・ 青少年育成プラザ「ミアキス」の運営 等

(2) 葦崎市における定住対策について、主なものは下記のとおりとなります。

- ・ ニコリ内における移住・定住窓口の設置
- ・ お試しハウス・お試し住宅による移住希望者のにらさき暮らし体験
- ・ 葦崎市持家住宅定住促進助成金(住まいるマイホーム)
- ・ 空き家バンク制度
- ・ 定住促進住宅家賃助成制度
- ・ 若者定住就職奨励金
- ・ 葦崎市若者定住就職者家賃助成金(ふるさとワークサポート)
- ・ 結婚新生活支援事業 等

(3) 空き家バンク制度について

- 円野、清哲、神山地区へ移住した件数及びその理由
 - ・ 昨年度、円野・清哲・神山地区の成約5件、本年度4月～6月で4件
 - ・ 富士山などの眺望の良さ
 - ・ 国道20号へのアクセスの良さ(生活しやすい) 等
- 移住希望者の住宅建築費用の削減の効果
 - ・ 地区→空き家の解消&人口減少の抑制
 - ・ 地区からのバンク登録には、葦崎市空き家バンク登録促進地区協力奨励金の支給あり。
 - ・ 令和4年より農地付き空き家において、空き家バンクへの登録が可能
- 通常の不動産売買と異なり、様々な助成制度あり。
 - ・ 空き家所有者＝登記関係の経費補助&物件成約後に登録促進奨励金
 - ・ 空き家契約者＝不動産仲介手数料&引っ越し費用の補助
 - ・ 物件に対して＝リフォーム工事の補助(所有者もしくは契約者)

※定住促進等に関する事業(1)～(3) 資料提供:総合政策課

次頁に続く

※円野町の人口(令和から)

円野町の人口に関して、令和元年から現在までの推移を確認したところ、約60人弱減少している状況でありました。円野町に限らず、葦崎市全体においても、人口の減少は著しく、同時期の減少数は1,000人を超えております。

市においては、この人口減少を抑え、住みよいまちづくりを推進するため、(1)~(3)記載の定住促進事業等を展開しているところであります。

引き続き、これらの事業の取組みに対してあらゆる角度から検証するとともに、議会においても、喫緊の課題である人口減少対策について調査・研究し、市に提言してまいります。